

## 令和2年度第1回兵庫県立図書館協議会 会議録

### 1 日時及び場所

令和2年9月25日(金) 13:00~15:00

### 2 出席者

協議会委員 廣岡会長 角本副会長 朝野委員 岡田委員 川石委員 仲井委員  
春名委員 三浦委員 森玉委員

県立図書館 岡田館長 井上次長  
梶本総務課長 谷口利用サービス課長 高宮ふるさと・資料課長

教委事務局 社会教育課前川課長 畑中指導主事

### 4 議事

- (1) 令和元年度高校生ビブリオバトル大会の映像を上映
- (2) 県立図書館運営状況について  
次長より、資料に沿って説明
- (3) 県立図書館中期運営方針の自己評価について  
次長より、中期運営方針、中期運営方針の自己評価に沿って説明

#### 委員の質問・意見と図書館の説明

(ビブリオバトルについて)

(委員) 参加校に地域の偏りはないか? 遠方の高校に対してPR等何か配慮は行っているか。

(図書館) 但馬地域の浜坂高校、淡路の津名高校、洲本高校等、広く参加している。

(委員) 遠方からの参加は、旅費がネックである。また、応募者が多数になった場合、予選が行えないと、図書館の会場の収容力が問題となる。しかし、高校生の学校外活動の一環として、こういう大会の入賞履歴がAO入試や自己推薦入試等の資料となることがあり、高校生にとって価値のある大会とも言え、そういう面でも、継続開催が望まれる。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクを着用することになれば、表情が見えにくくなるのがどう影響するか、検討する必要がある。

(委員) 高校生のビブリオバトルもいいが、小学生を対象とする等、小さな学年、小さな教室で行う形を広めてはどうか。

(委員) 県立図書館の近隣では稲美町で、小学生の短い時間のビブリオバトルを行っている例がある。

(委員) ビブリオバトルにおいては、ディスカッションでどうアピールするかがポイント。そのことについて参加者に知らせるべきではないか。また、人前で話すことに慣れていない参加者は緊張するので、最初にアイスブレイクを行ってはどうか。

(委員) 神戸新聞社もビブオバトルを開催している。図書館と神戸新聞がタイアップして、ビブリオバトル甲子園を開催するなど、関係機関との連携も考えられる。

(委員) ビブリオバトルの面白みはプロセスや経緯にもあると思う。現状は形骸化してしまっているように思うので、何か考えていった方がいい。小さな規模で行う楽しみもあると思うので、クラス単位など小さな取組みをやってみるのも良いかも知れない。

(その他事業について)

(委員) 婚活イベントについて、結果はどうだったのか。参加者はその後の結果について報告をするようになってきているのか。また、PRはどうしているのか。地域によって情報が入りにくい場合があるように思う。

(図書館) 報告は求めてないので結果については不明。広報は、ホームページやチラシ、フェイスブック、インスタグラム等で行っている。

(委員) 「明石公園をしょくぶつ博士とたんけんしよう」等、図書館の外にネットワークを構築した意外なイベントや取組みを行っていることに驚いた。県立図書館は緑に囲まれた公園の中にある落ち着いた良い環境にあり、公園という立地を活かした行事を行っているが参

加者の感想等を教えてほしい。

- (図書館) しょくぶつ博士のイベントではアンケートで「専門的な話を聞けた」等良い感想があった。こういったイベントは普段の高齢男性以外の利用者層を新規開拓する方法として有効。
- (委員) インスタグラムには、1日にどれくらいの「いいね」がつくのか。
- (図書館) 十数件しかついていない。
- (委員) インスタグラムや動画をあげる中で、待ちの姿勢ではなく形を変えていく必要がある。例えば職員がビブリオバトル形式で本を紹介する等面白い仕掛けのある情報発信を行い、若い層を取込んで拡散してもらおう。物語性のあるものが拡散しやすい。
- (委員) 市町立図書館で要望を聞いてみたところ3点出てきた。一つ目は立地や予算の問題。現場が頑張っているのは分かる。図書館の図書館なら、市町で買えない(1万円以上の)高額図書を購入してほしい。
- 2つ目は、市町立とコラボした展示や、県立図書館は良い資料を持っているので、巡回展をやってほしい。
- 3つ目は、電子図書館について、神戸市や川西市は導入済みで、周辺の市町がそこにリンクしている。県立図書館が先頭を切って導入し、導入できない市町をサポートしてほしい。長期的課題ではなく、喫緊の課題として考えてほしい。
- (図書館) 資料購入に充てる予算は限られている。学術書中心で購入していて、県民のニーズに応えるため、市町立図書館からのリクエストも受けて購入しているが、予算面から高額図書の購入は年度末にまとめて購入するようなこともある。できるだけ市町の要望に応える形にしたい。また、展示については、当館の展示資料を市町で使用していただけるようリストを提供している。今後も早めに情報提供するようにしたい。
- 電子図書については、収集方針としている専門書等がまだあまり電子書籍化されていない。また図書館の閲覧用で購入すると、個人で購入する場合の3倍かかる。システム改修も必要なため、様子を見るしかないのが現状である。
- (委員) 最近ではコロナで時間があるので学生等若い人がよく本を読みエッセイを書いて応募などもしている。コロナでなかなか来てくださいとPRしにくい、「今すいている」、県立図書館の「保管する機能」に着目し、「図書を大切に保管している」という広報をしてはどうか。広報の手法としてホームページ作成依頼が高額なら、フェイスブックを活用したらどうか。
- (図書館) まだまだ情報発信については課題と感じているので、色々ご提案いただきたい。
- (委員) ITに強い職員が図書館に配置されることを望みたいが、人事の都合もあり難しい面もあると思う。
- (委員) ビブリオバトルに230名の参加や、夏祭りは人と自然の博物館とのコラボで376人という実績は素晴らしい。昆虫に関する内容なら、伊丹市の昆虫館とのコラボはどうか。
- コロナ関連の対応について記録をまとめて、今後活かしてほしい。書籍消毒機も購入してほしい。
- (図書館) 書籍消毒機は購入済みである。
- (委員) 近年災害が多くなっている。兵庫県の土地の歴史についての資料を置いているのが県立図書館なので、それを大切に活用して、自分の土地について調べに来る人が増えることにつながると良いと思う。
- ビブリオバトルは前もって本を読まないといけいけないので、「絵本ワールドカフェ」を開催してほしい。
- (委員) With コロナの中、今のままのサービスを続けて良いかという問題があるが、非来館型といっても、電子図書館にするには市場ができあがっていないという問題がある。
- バリアフリー法が整備されたので、点字図書館や関係部門との連携も考えていかなければいけない。
- (委員) 美術館や図書館は、地域の文化のバロメーターだと思う。兵庫県立図書館が資料購入費が都道府県立図書館中47位のままで推移していることは残念である。図書館が一生懸命であることは理解しているので、いかに県へ現状をアピールするかが重要である。
- (委員) 図書館の図書館という役割が時代とともに変わってきているので、見直す必要がある。市町とのネットワークを含めて、図書館としても教育委員会としてもあり方を考えていかなければいけない。
- (委員) 兵庫県はたくさんの有名人を輩出しているので、郷土が誇れる人物を取り上げたコーナ

一を設ける形をとっても良いのではないか。

(委員) コロナ後の図書館を考えていかなければならない。緑の中という環境を生かして、屋外イベントや外で読書する環境を整備するのはどうか。ホームページの作成経費については、職員の副業を認めて委託する形がとれたら、経費もそれほどかからないのではないか。